

海外プログラムについて

海外プログラムは、2年次の全学生が、海外において語学に加えて専門分野の学びを体験できるように開設する短期研修プログラム。

海外プログラムの効果を高めるための1年次からの仕掛け

授業としての取組

- ・ 英語運用能力を鍛える「英語集中プログラム」を設け、英語をためらわずに運用する能力と正確に運用する能力の両方を伸ばす。
 特長：100分授業×週4回(必修)、ネイティブ教員と日本人教員が連携して授業を実施。

授業外での取組

- ・ 1年次全寮制により、学生同士の関わりはもとより、地域活動にも関わることにより、異なる考えや立場について理解する力やコミュニケーション能力を育てることを後押し。

現地研修のねらいや特色

専門分野の学びへとつながる体験

- ・ 1年次に培った力を基礎として、単なる語学研修ではなく、2年次以降本格化する専門分野の学びの動機付け、視野の広がりを獲得できるような体験を得る。
 現地での体験：大学等におけるビジネスの基礎に関するレクチャー、企業視察や職場体験、健康観や食文化に関するレクチャー、管理栄養士との交流、保育所視察や自然保育の実習体験など

グローバルな視野やたくましさの獲得へ

- ・ 異文化体験や英語によるプレゼンテーション、現地の学生との交流を通じて、異文化を理解する力や、英語による発信力、自ら課題に立ち向かうたくましさの獲得をめざす。
- ・ 全員参加とすることにより、寮生活と海外プログラムを通じて同じ体験をした学生たちが刺激と経験を共有し、その相乗効果により、自立し、協働できる若者として育っていくこともねらいとする。

次のステップへ

- ・ このようなねらいをもった全学生参加の海外プログラムには、時間的・経済的な負担が少ない短期プログラムが最適。
- ・ 短期の海外経験を得たことにより、さらに中期・長期の留学を希望する学生が生まれることを目指す。希望者に対する中期・長期の交換留学の実施へとつなげていく。